

日本の前途を指し示し、国民みんなと考える、日本共産党と「しんぶん赤旗」

「近所のみなさん、日本共産党です。」しばらくの「静聴・ご協力を、よろしく願います。」

アメリカ発の金融危機がきっかけとなって、輸出・外需頼みの日本経済のもろさが吹き出し、「派遣切り」など、雇用破壊が深刻さを増しています。

国民生活は、本当に大変です。

自民・公明が進める、政治の責任が、厳しく問われているのではないのでしょうか。

麻生内閣は、国民の信を問うことなく、政権に居座り続けるのをやめて、一刻も早く、解散・総選挙を、実施するべきです。

「西松建設」の違法献金問題では、自民党はもちろん、とりわけ、民主党・小沢代表は、国民への説明責任をしっかりと果たして、自浄努力を發揮するべきです。

その上で、企業や団体の政治献金を、キツパリと禁止してこそ、国民の暮らしの痛みに、心を寄せた政治が、実現するのではないのでしょうか。

日本共産党は、企業献金はもちろん、政党助成金も受けとらないで、自前で活動しています。

「近所のみなさん。」

「朝日新聞」の世論調査によれば、今の政治は、舵取り(かじとり)不能(五〇%)の、沈没船(三〇%)のようだと、八割の方が、答えています。

日本の進路はどうあるべきなのか、将来像と道筋を、しっかりと示してほしいというのが、多くの方の、共通の思いでは、ないでしょうか。

日本共産党は、労働と暮らしを守る、「駆け込み寺」の取り組みを進めながら、「緊急経済提言」や、政府予算案の「組み替え案」を発表して、頑張っています。

「労働相談」や「生活相談」があつたら、いつでも声をかけてください。また、日本共産党の支部が主催して開く、「日本の前途を考える集い」に、機会があつたら、ぜひ、参加してください。

みなさん。

日本共産党が進める、第一の舵取り方向は、大企業の応援中心から、国民の暮らし第一へと、経済政策の軸足を切り換えること、「ルールなき資本主義」から「ルールある経済社会」へと、切り換えることです。

「貧困と格差」を広げ続けた、「規制緩和」一辺倒の「構造改革」は、やめて、誰もが、人間らしく働き、人間らしく生きられる日本を、つくろつてはなりませんか。

日本共産党は、労働者派遣法の抜本改正など、「人間使い捨て」をやめさせるために、総力をあげます。

医療や障害者福祉に、「応益負担」の原則が持ち込まれたために、お金がなくて医者にかかれなにか、障害が重いほど負担がかさむという、大変な事態がうまれています。

能力に応じて負担する、「応能原則」に立ちかえって、医療や福祉が充実した日本を、実現しようではありませんか。

そのためには、巨額の内部留保や株主配当の一方で、「派遣切り」を進める大企業に、雇用面や福祉・社会保障面で、もっと**社会的な責任をはた**してもらふ必要があります。また、株式など証券取引で大儲けをあげる大資産家に、諸外国並みの税金負担を求める必要が、あります。大企業へのいっそうの減税の穴埋めのために、**消費税を増税**するなど、もつてのほかです。

みなさん。

日本共産党が進める、第二の舵取り方向は、グアムの米軍基地建設費まで負担する、極端なアメリカいいなりをやめて、自主独立の立場に切り換えることです。

日本の前途を指し示し、**国民みんなと考える、日本共産党と「しんぶん赤旗」**を、よろしく願います。ご協力ありがとうございます。